



子どもたちもお祭りの
雰囲気を楽しんでいました

ふるさと
今

地域の力で、伝統行事復活!!

～温泉津町小浜「えびっさん」～

皆さんは「えびす講」という行事を耳にされたことがあるでしょうか。かつて温泉津駅前通りでは商店や露店がひしめき、「えびす講」と銘打った催しが毎年11月末に開催されてきました。しかし、人口減少や商店の閉店などの影響から、二十数年前にえびす講は途絶えてしまいました。

あの頃のにぎわいを取り戻したい——そんな思いから商店会や商工会、公民館やまちづくり団体を中心に、生まれ変わった「えびす講——『えびっさん』」が開催されました。

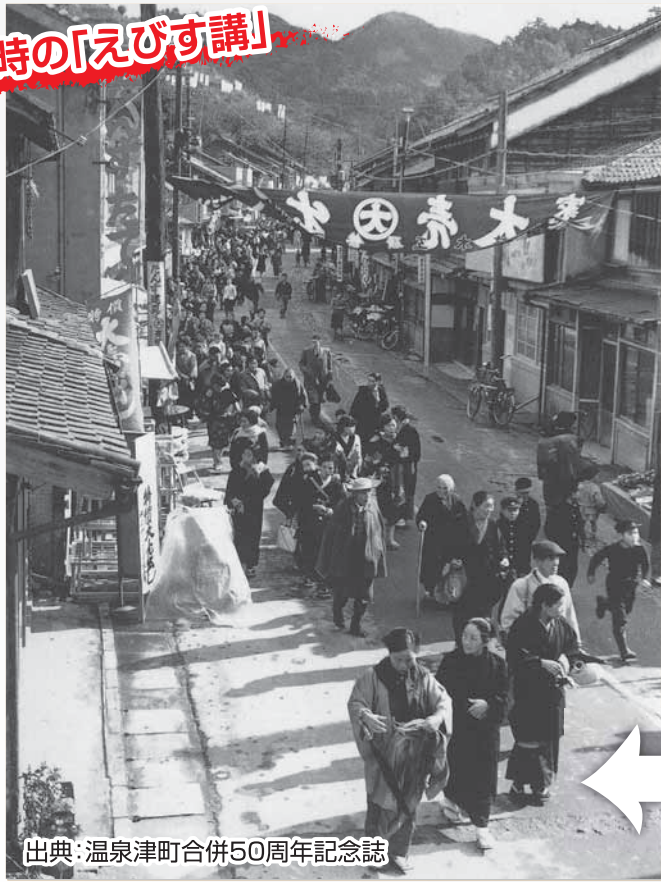
昨年12月4日、『えびっさん』当日の温泉津駅前通りは、およそ800人を超える人出でにぎわいました。懐かしの「べっぺここんにやく」(薄切りにしたこんにやくを串に刺してゆで、味噌を塗ったもの)を高校生ボランティアが販売したり、若いお母さんたちが子ども服のフリーマーケットを開いたり、共同浴場の脱衣所が開放され卓球台が設置されたりと、趣向をこらした出店が並びました。奉納神楽やつきたて餅のふるまいも人気を集めました。

中でも一番注目を集めたのは、「一日限定・名店復活」。町内の若手女性グループが楽しみながら出店準備に取り組み姿に、大衆食堂を営んでいた店主夫妻が一念発起。店をたたくて久しぶりの駅前食堂が、一日限りの営業を行うことに。鍋いっぱいのおでんを用意した食堂の前には、懐かしの味を求めて長蛇の列ができました。

実行委員長の榎一雄さんは「(イベントは)最低3年はやらないと。地域の皆さんの喜ぶ顔がまた見たい」と振り返ります。

伝統を受け継ぎながら、新たな芽生えが通りを彩った冬の一日でした。

往時の「えびす講」



出典:温泉津町合併50周年記念誌

当日の様子



この情報誌は定住促進を目的に発行しています。

発行/大田市役所政策企画部地域振興課定住推進室 ☎:0854-83-8029 FAX:0854-82-5885

〒694-0064 島根県大田市大田町大田口 1111 番地 E-mail : o-tiiki@iwamigin.jp <http://www.city.ohda.lg.jp/>
 おおだの定住PRサイト「どがどが」 <http://www.teiju-ohda.jp/> どがどが 検索

